



いとう きんいち
伊藤 欽一 議員

1人暮らし高齢者の 見守り対策

広域的な取り組みも含め検討し対応



週2回訪問しヤクルトを手渡しすることで見守り
(笑顔で受け取る長沢第3の沼澤さん)

【質問】 少子高齢化が深刻化する中、1人暮らしの高齢者が年々増加の一途をたどっています。全国では600万人以上が高齢者で、5人に1人の割合で1人暮らしになっているという調査報告が報道されました。町内で1人暮らしの高齢者の人数と地域別はどのようになっているか。また、見守りはどのよう

【町長】 農林漁業体験実習館周辺において眺望や周辺の環境など、自然と触れ合う場所としては、好立地であると考えますが、キャンプ場等の整備にあたっては、環境への配慮

65才以上の人口に対し、男性86人、女性127人の213人で、約10人に1人が1人暮らしの高齢者となっており、75才以上では、男性33人、女性88人の121人で、75才以上の人口の約9人に1人が1人暮らし高齢者になっています。その中で見守りが必要な方は50人ほどと把握しています。地区別では、長沢地区で見守りが必要な人数は13人、舟形地区は26人、富長地区は6人、堀内地区は、5人となっています。

見守り活動は、民生委員や町内会の方々が担っていたいており、定期的な訪問やチラシ配布などを通じ様子を確認しています。

社会福祉協議会では、75才以上の1人暮らし高齢者を対象に、ヤクルトを週2回手渡しで訪問し、65才以上の高齢者世帯には週1回弁当を届ける事業により見守りを行っています。

令和8年度予定の新消防本部完成の際に、現在利用している緊急通報システムが使えなくなるので、タブレット端末などのデジタルを活用した次の見守り対策について管内町村での広域的な取り組みも含め検討し対応してまいります。

献立
炊き込みご飯
塩だれ焼肉
白菜の香りとえ
筑前煮
春雨サラダ
きゅうり漬け
りんご



65才以上の高齢者世帯の見守りに弁当を届けています
(7月、8月、9月は衛生面を考慮し配布はしていません)



かなうち まさき
叶内 昌樹 議員

猿羽根山周辺施設の今後について

指定管理者の要望があれば検討



民俗資料館前に整備された消火栓

【質問】 現在、猿羽根山にある農林漁業体験実習館は管理のみの委託であるが、指定管理者の委託先が施設周辺の森林を活用し、キャンプ場やオートキャンプ場、さらには、雪室の利便性を活かして

【町長】 農林漁業体験実習館周辺において眺望や周辺の環境など、自然と触れ合う場所としては、好立地であると考えますが、キャンプ場等の整備にあたっては、環境への配慮

ロウリュウ式サウナ等の運営を希望したら委託条件上可能なのか。また、猿羽根山施設等周辺については、消火栓が民俗資料館前のみの設置のようですが、猿羽根山周辺施設等の今後の防災力強化について、町長に伺います。

とスタッフの確保、費用対効果などを含め、持続可能な運営が必要と認識しております。現在、指定管理者制度により、農林漁業体験実習館の管理運営をお願いしておりますが、収益面も含め、キャンプ場などの管理運営が可能かどうかを、指定管理者が検討し、要望があった際には、町としても検討してまいります。



過去にキャンプ場が整備されていた実習館前の広場
現在もしっかりと管理されている

備が進む中、これまで以上の交流人口を目指す一つの手段として、キャンプ場の増設や、オートキャンプ場の整備を考えると、今後の高速道路の整備